



あいち平和のための戦争展が市民ギャラリー矢田で8月10日から13日までの4日間行われました。今年は若い人達(とくに高校生)が企画参加したイベントもあって、1500人以上の来場がありました。保存する会の展示では「瀬戸市戦没者1175名の記録」を展示し、たくさんの方に見ていただきました。展示の片付けの際は、山田さん、芝田さんに大変、お世話になりました。ありがとうございます(寺脇)。

寺脇



新たな出会い、新たな思い



瀬戸地下
軍需工場
跡を保存
する会

会報

NO.177
2023年
9月10日

瀬戸市船場町64-1
瀬戸市職労組 事務局
0561-84-4760
fax 84-4767
郵便振替口座番号
00820-9-105120

連絡先

事務局
梅野
090-3837-7050
寺脇
0572-23-5899
fax 同上
携帯

090-6575-4370

Eメール
tera-m@ob.aitai.ne.jp



陳謝します！

市民ギャラリー矢田で行われていた「平和のための戦争展」が8月13日(日)に終わりました。当日、会場での「証言集の売り上げ」が7冊で6300円もあり喜んでいたら、搬出用の駐車料金が6400円もかかってしまい、皆様からのお預かりしている貴重な会費・カンパを無駄に使ってしまいました。これは、会場の駐車場なら300円ですむところが、満車のためドーム近くの駐車場に止めたことが原因です。申し訳ありませんでした。(寺脇)

ありがとうございます
っございました！

2023年度
瀬戸市 会費およびカンパを頂いた方

東京都 鈴木 守さん 10000円
船津 宏さん 30000円

2023年8月2日以降に
会費・カンパを頂いた方は2024年
度に計上します。

2024年度
瀬戸市 会費およびカンパを頂いた方

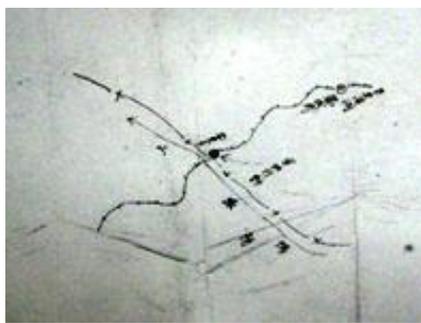
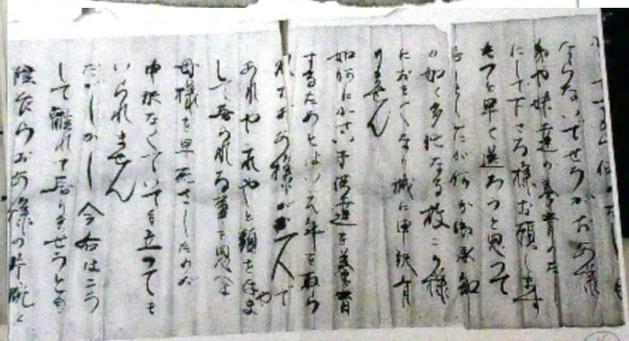
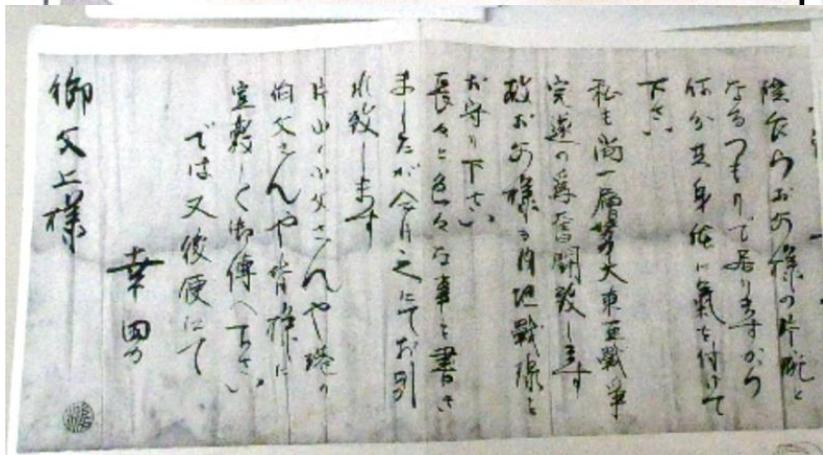
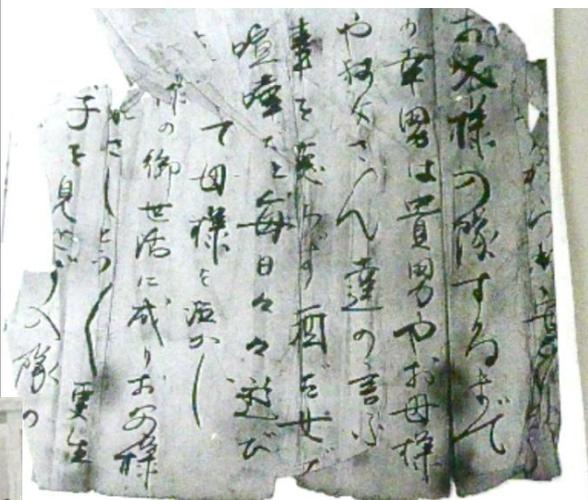
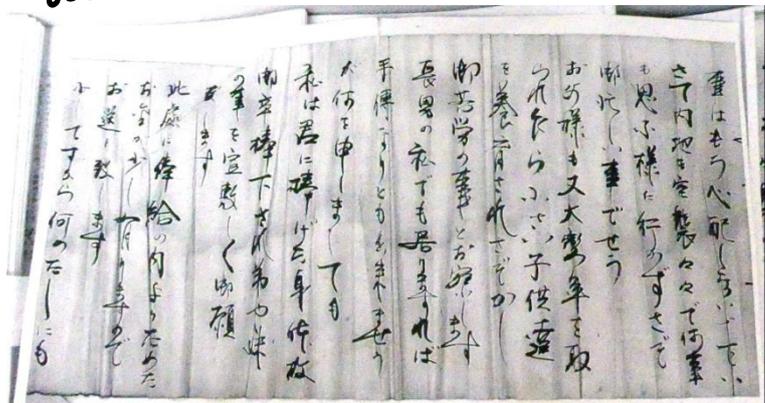
中津川市 中村儀朋さん 15000円
加藤敏晴さん 10000円

愛航研究会 渡辺哲国さん 40000円

2023年9月5日現在
144名 (+0-0)

朝鮮で行方不明になった伯父の手紙

会場での
お話1



当時の中国・朝鮮の国境付近のようす。

戦争展会場で終戦後朝鮮と中国の国境付近で行方不明になった伯父（亡母の兄）の手がかりを捜して見える方にお話をお伺いしました。この方は、名古屋市北区にお住いの丸岡さんというかたで、行方不明の伯父さんは山田幸男というお名前で大正12年8月生まれで軍歴は、昭和19年2月15日付で25師団輜重隊要員として輜重兵第四聯隊補充兵に入隊。

昭和20年3月30日に独立混成第79旅団の通信隊で陸軍伍長をされていました。8月9日にソ連が日本に参戦後、8月25日に単独行動をされた後、昭和21年10月までは、中華民国安徽省安東県安東市紅岸通りで確認された後、行方不明になりました。

上の手紙はいつ発送されたかは、不明ですが、父親宛に自分の親不孝を詫びるとともに兄弟のことを心配し、大東亜戦争完遂に向けての激励も含まれています。

何か手掛かりになるような情報がありましたら、ご連絡ください。

事務局 寺脇

お話2



西浦芳郎さん（名古屋市南区在住）のお話

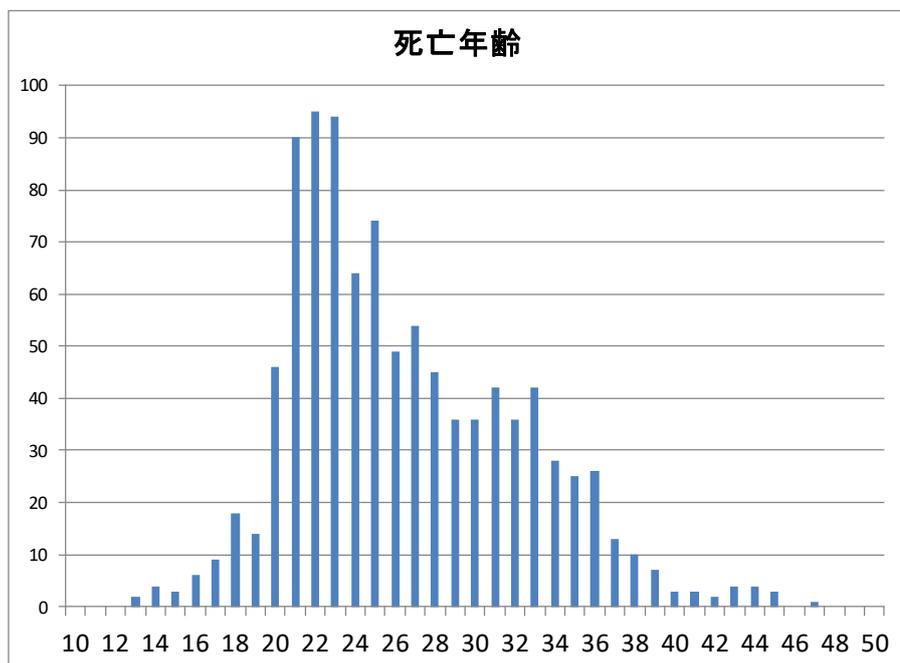
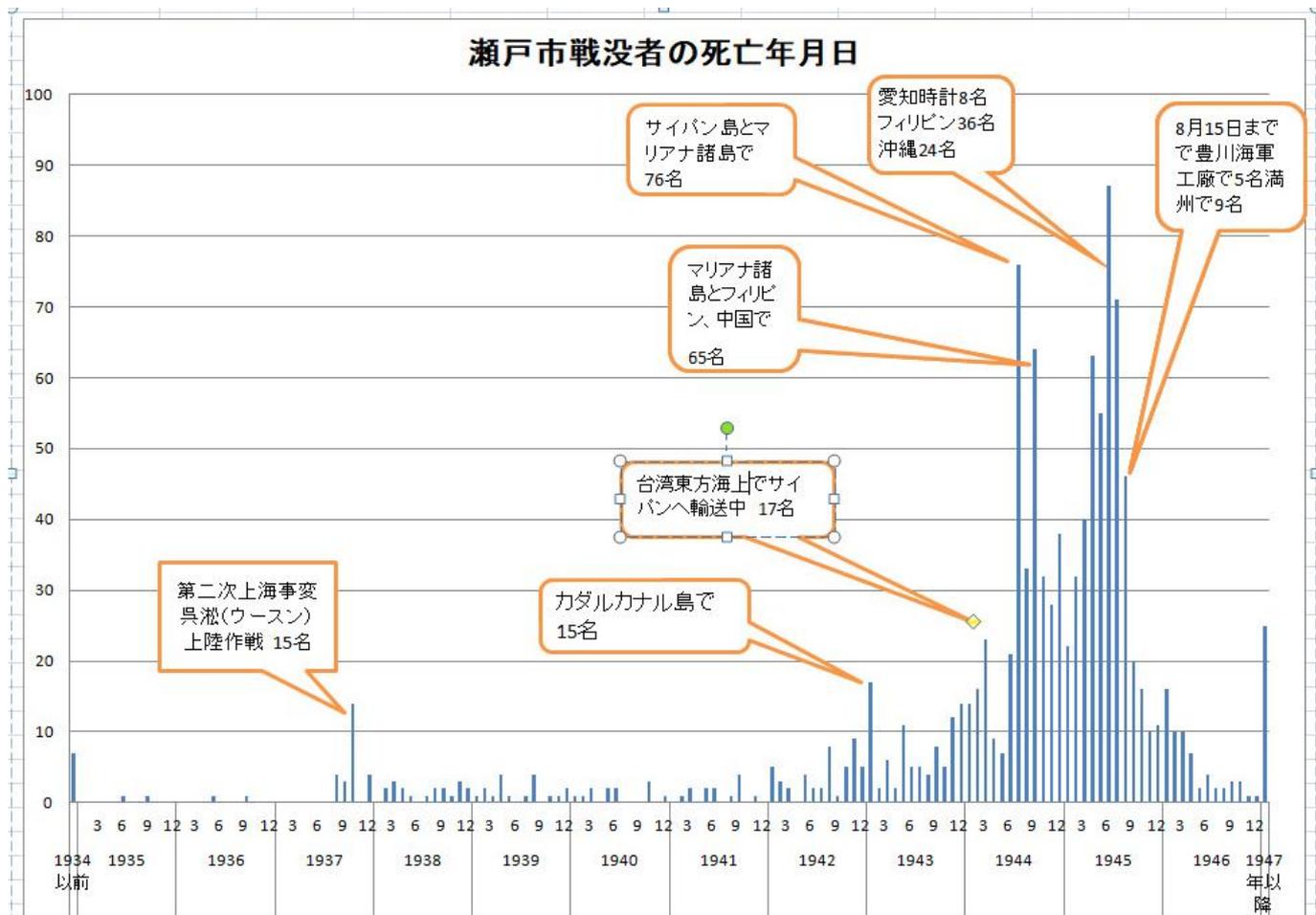
「この瀬戸の顕霊誌のような膨大な記録ではないが、平針の針名神社北に秋葉山があり78柱の顕彰台がある。それには戦没者の死亡日、死亡場所が記されている。平針は戦前は平針村で遺族会が建てたのではないか？」

ということで戦没者の記録を残そうとする動きは、各地にありそうです。一度お伺いしたいものです。

（寺脇）

瀬戸市顕霊誌にみる戦没者 1175名の記録

ピースフェスティバル in せと 戦争体験を語り継ぐ会 第3回



今年の会の展示活動として瀬戸市戦没者1175名の記録と題して、ピースフェスティバル in せと 戦争体験を語り継ぐ会の第3回で文化センターの22会議室で展示ならびに講演会を行いました。同じ、内容であいち平和のための戦争展で展示をしました。この記録は1995年の戦後50年を期して発行された瀬戸市遺族会による顕霊誌を基に作成したものです。膨大なデータの中には戦歴が大変、詳しく記載されているものもあり、今後、個別に内容を分析していく必要があると

名前の持つ命の大切さ



日朝協会の小出裕さん(右)と瀬戸ノベルティ文化保存研究会代表の中村儀朋さん(上)



共に、個別のデータを集積分析していく必要があると感じました。語り継ぐ会の会場でも「発言いただいた日朝協会の小出さんの提唱された あいち平和の命簿」戦死者十万名の調査活動」に触発されて今回の展示を行ったわけですが、戦後78年を経て遺族すら少なくなっている状況の中でも、記録を残す活動を通して「命」の大切さと戦争の愚かさを訴えていくことが大切であると実感しました。会場では、「顕霊誌」の制作に関わってみえた中村さんにも制作当時のお話や現在に日本の情勢などを熱く語っていただきました。また会場にご参加された方々からもたくさんのお貴重なお話を伺い大変、有意義な会となりました。
(寺脇)

来場者の感想

息子と一緒に(おじいさんの戦死について知りたく、興味をもって)来場した。特にこの戦争の話(壁に貼られていた戦没者資料)をみて(二度とこのようなバカな戦争は決してやるべきではないです。母もむごい人生を送りました。)

戦争反対署名には少しでも役立つようにと頑張っています。こういう催しはもともとやってほしい。あの戦争のむごたらしいことを皆に分かってほしい。二度とあのような過ちをしないように!!

連区の名簿の中に父の名前を見つけ(頂いた資料の名簿の中にも)、感激した次第です。
(N・Mさん感想文より)

これからもこういうことをやって下さい。私も満州ハルビンで生まれ(1945年1月)、親がよく日本に連れてきてくれました。私達の同級生の人たちはお父さんがいない人が多かったと思います。

戦争は絶対にやってはいけない!

女親は、よく、戦争のことを店にやってきたお客さんに「帰ってくるのに大変だった」と話をしていた。男親は、水を飲むのに水道がないから、水をためている中に人が死んでいることもあったがその水を飲んだと言っていた。戦争が始まれば、岸田さんが先に行ってもらいたい。絶対、やってはいけない。
(S・Kさん感想文より)

詳細な記録を収集されていて驚きました。分析もすごい!

戦死された中には、まだ13才という子どもと言っても良いような年齢の学徒

もいて、本当に悲しいことと思いました。保坂正康さんの近現代史を月刊ゲン

ダイ・エムなどで見、今日の資料とダブリます。徴兵され、若くして命を失っていった戦没者の無念と親族の嘆きはいかほどだったかと思

います。国家による理不尽な戦争は日本だけでなく、常にどこかでおきていて、ロシアとウクライナ

戦争もこの先どうなるかと心配しています。正しい戦争などなく、外交努力によって、未然

に防ぐことが大切だと思います。

残念ながら泥沼化してしまいましたが、これ以上、双方の兵も民間人も命を失うことのない

よう、日本もアメリカに追従ばかりしていないで、仲介に入り、停戦への努力をしてほしいと思

います。

戦死者の写真、まだ幼さの残る顔も見受けられ、戦争の現実に触れた気がしました。何のために人は戦争をするのか? 無くすにはどう

したらよいのか? 多くの資料を前に思いました。有難うございました。

(歴史から目をそむけないこと、忘れないことが、再び戦争を起こさないための行動につながるのだと思います。)

(Kさんの感想文より)

聖霊中学校「平和のつどい」

8月2日、瀬戸市にある聖霊中学校の「平和のつどい」に招かれて、戦争の時代(とくに太平洋戦争)のアウトラインをクイズ形式で考えてもらうことと、瀬戸にある愛知航空機の疎開工場跡地について解説しました。ただ「お話」を聞くだけで

はない手を挙げてもらうことによって意識を高められたのではないかと思います。この会は以前より同校の福山先生のお骨折りで実現することができ、有意義な会になりました。以下は平和新聞に掲載された木戸さんの感想です。(寺脇)



2023年度 聖霊中学2年生

「平和のつどい」

2023. 8. 2 視聴覚教室にて

午前10時～11時

(文責 木戸泰幸)

第1部「瀬戸市にもあった戦争」 瀬戸地下軍需工場跡保存する会 事務局 寺脇正治さん

2023年8月2日聖霊中等部で中学生約200名、教員約10名の参加で「平和のつどい」が午前10時より開催されました。最初に企画担当教員の福山先生の挨拶があり「日常の何気ない日々を大切にする事が平和につながる」事が強調されました。

次に寺脇さんの自己紹介があり、ご自身も12年前は小学校教員を務め、自らも「戦争を知らない世代」であります。この瀬戸市にも「戦争はあった」事を市民に伝える運動を34年間行ってきた事等が語られました。ただ、瀬戸市出身の聖霊中等部の生徒さんは1割にも満たないのが、現実でありますので、説明自体は大変苦労されました。

そこで寺脇さんはクイズ形式で「話」を進められ、「歴史的事実」・「歴史認識」に関する問題が出されました。特に「第二次世界大戦が終了した日は、1945年8月15日は○又は×か」は中々面白い設問でありました。正解は×です。何故でしょうか。よく考えてください。こんな内容で「話」は進められました。

寺脇さんが力を込めて参加者の生徒・教員の方達に一番お知らせしたかったことは、瀬戸市立水野小学校に隣接する旧愛知機械の軍需工場跡地を指定文化財にさせていただくことです。数か所に分散している工場跡地を整備し後世に伝えていくことが、戦後第一世代の使命とも感じられる静かな気迫が込められた詳細の説明が為されました。その中での史・資料の一部にアメリカが作成した地下軍需工場の地図も紹介されました。寺脇さんの話の全体から、参加者の皆さんに如何なる理由があろうと「戦争は絶対起こしてはならない」ことを、訴える内容でありました。寺脇さんの「話」の最終段階で中等部・社会科の先生が夏休みの課題で「あいち・平和のための戦争展」に参加しその感想をレポートに仕立てれば、及第点を与えます、との事。中々の試みです。最後に福山先生から昨年始めた「土曜セミナー」—瀬戸地下軍需工場跡地見学—の第2回目の開催が10月21日で決定された事の発表がありました。

大変愉快なお話であり、最後はカトリック系らしく「お祈り」の儀式で納められました。
以上

投稿

海上の森 11名斬首

鈴木守

願うことは、この事件を忘れない(ずーっと考えてゆきたい)です。

『森』は2005年『万博』以降おおくの方々を訪れています。歩かれる 触れられる 聞かれる 様々な楽しみ『森』78年前のことと思いをいたしていただけたらと 始めたことです。(添付チラシII下記)賛同者を得て『森』に「事件お知らせ板」を作りたい 私の最終目標です。

何故 11名搭乗員は 軍律裁判抜きで斬首されねばならなかったのか。

※東海軍に捕らえられた B29 搭乗員38名

11名 1945年6月28日

裁判抜き 海上町大平

11名 1945年7月12日

軍律裁判 死刑判決を得て 小幡射撃場

16名 1945年7月14日

裁判抜き 名古屋城下東海軍第二兵舎裏

何故 『海上の森』がその現場であったのか

処刑実行者の出身地 幡山では、兵隊として死んだ人も多く(183名)

戦争が特別重く感じられるようだ

何故 子供たちは『見物』できたのか

当日は金曜日です。小学

校休校して 大人たちとともに動員されたのでは。

屋戸橋を渡って・・・しばらく

らく休憩(晒された口)して

海上のほうへ

何故 戦後78年 地元(山口)の『記録』『記憶』『祈念』が行われなかったか

調べて 知ることは 多くあり 道遠しです。

貴会に集う皆様のご教示を お願い申し上げます。

じっくり読みたい本

① 平和への散布道を

② 法廷の星条旗

③ ながい旅

④ 軍律法廷

⑤ DVD 明日への遺言

⑥ POW 研究会 東海軍事件

⑦ 『BC級裁判』を読む

⑧ 還い日の戦争 1978年刊

⑨ プリズンの満月 1996年刊

以上

1945年(昭和20年) 6月28日

海上の森 瀬戸市海上町大平 (おおだいら)

捕縛米兵 11名斬首

空襲犠牲者	記 録	記 憶	祈 念
B29搭乗員			
戦犯			

瀬戸市在住 鈴木と申します。

まもなく80年 知って 考えてみようとしています。

なんなりとお問い合わせください。

☎070-2639-3172

FAX0561-21-6795

Email psmamoru@gmail.com

この件に関しまして情報をお持ちの方は、直接右の連絡先に情報提供をお願いします。事務局 寺脇

第32回保存する会総会



8月6日(日)水野地域交流センターで保存する会の第32回総会を行いました。会場には10名の参加があり、参加者からの活発な意見交換も行われました。総会記念講演会では保存する会の事務局員でもある圓角成生さんから「大切な人との縁を結んだ戦争遺跡たち」と題して、お話をしていたいただき、戦跡保存活動の大切さを改めて感じることができました。総会ならびに講演会の内容は改めて掲載します。(寺脇)

第32回 瀬戸地下軍需工場跡を保存する会

総会要項

〈会場〉 水野地域交流センター

〈日程〉 司 会

事務局 芝田政春

13時30分 あいさつ

代表 表 梅野敏基

1、本年度の活動報告

事務局長 加藤 徹

2、会計報告 監査報告

会 計 寺脇正治

会計監査 栄木房子

3、次年度の活動方針

事務局長 加藤 徹

質疑

・

承認 ・事務局員紹介

13時50分 休憩

14時00分 記念講演会

「大切な人との縁を結んだ戦争遺跡たち」

戦争軌跡研究会 圓角成生さん

16時00分 終了

〈はじめに〉

私たちは、瀬戸に残る地下軍需工場跡を保存し、瀬戸市民の戦地・銃後の苦しみ体験を調査・保存して、再び先の戦争のようなことが起こらないようにと、微力ながら33年間活動してきました。

ところが、2013年の「秘密保護法」に引き続き、2014年は「集団的自衛権」の閣議決定がなされ、そして2015年は「安保法案」が2017年には「共謀罪法案」が国会で可決されるなど、外国と共に海外で戦争する国になるうとしています。また2022年の2月に起こったロシアによるウクライナ侵攻に伴い、軍事費大幅増額、そして憲法改「正」の動きは過去を顧みない人達によって盲目的に推し進められようとしています。

私たちは、このような動きに強く反対します。そして、あの戦争によって引き起こされた国内の多くの犠牲を無駄にすることなく、平和な日本と国民生活、そして世界平和へ、多くの人々と力を合わせていきたいと思えます。

1、本年度の活動報告(22年8月〜23年7月)

1) 証言・資料の調査、記録する活動

瀬戸市と周辺の戦跡調査

・ 2022年

11月19日

瀬戸疎開工場百地区現地調査

加藤徹、芝田、大橋、寺脇

・ 2023年

4月13日、17日、18日

雨宮大尉自刃処碑予備調査 寺脇

2) 市民・県民に向けた広報活動

2022年

・ 8月6日

第31回総会 講演会

―地域を学び・地域で学ぶ

「ぼくらの町にも戦争があった」―

村瀬紀生さん

参加者16名水野地域交流センター

・8月11日～14日

あいち平和のための戦争展

参加 梅野、加藤徹、芝田、大橋、寺脇

・9月24日

戦争体験を語り継ぐ会 第4回

「戦争は教育からはじまる―廃屋にあった

戦時中の教材を観る―」寺脇

・10月8日

パルティセと交流フェスタ 展示参加

・10月22日

聖霊高校生現地見学会

聖霊高校10名 県立大学9名

事務局 加藤徹、芝田、大橋、寺脇

2023年

・1月22日

生協労連現地見学会 東海地方連合会

16名参加 事務局 梅野 寺脇

・1月29日

現地見学会及び学習会

水野地域交流センター

27名参加

事務局 梅野、加藤徹、芝田、野田、大橋、寺脇

・2月23日

子どもと教育九条の会講演依頼

「戦争は教育からはじまる」 寺脇

・6月11日

「愛航研第2回講演・晴嵐修復の全貌」

文化センター12会議室20名参加

事務局 加藤徹、大橋、寺脇

・7月22日

戦争体験を語り継ぐ会第3回

「瀬戸市顕霊誌にみる戦没者1175名の

記録」文化センター22会議室 参加25名

事務局 寺脇、芝田、大橋

・8月2日

聖霊中「平和のつどい」で中学2年生19

0名に講話 寺脇

・8月1日現在

ホームページ 閲覧数 25665

(1年間でアクセス約1200)

3) 戦争遺跡等の見学会、他団体と交流、全国

に紹介する活動

2022年

・8月20日～22日

第25回 戦争遺跡保存全国シンポジウム

広島大会 参加寺脇

・8月27日～29日

第52回空襲・戦災を記録する会全国連絡

会東京大会(オンライン) 参加 寺脇

・10月16日

二上山屯鶴峯地下壕調査 参加 寺脇

・12月11日

第38回 戦災空襲記録づくり東海交流会

オンラインで参加・報告 寺脇

・空襲・戦災を記録する会全国連絡協議会誌

「空襲通信」に交流会内容を報告 寺脇

2023年

・2月1日 月刊 社会教育2月号に掲載

「日本の戦争遺跡④ 埋もれさせない歴史

の真実」として地下工場跡地紹介 寺脇

・2月6日 豊田製鋼疎開工場跡地調査

参加 伊藤厚史、山田富久、寺脇

・3月26日

春の戦跡見学会「あなたがB26 墜落の目

撃者になる! ツアー」参加15名

事務局、梅野、加藤徹、芝田、大橋、寺脇

・7月1日

こうはんすいなん九条の会主催

「満蒙開拓平和記念館ツアー」参加 20名

事務局協力参加、熊谷、大橋、寺脇

4) 地下軍需工場跡地を保存・整備する活動

・2022年

12月10日 現地整備作業 草刈り

参加者7名

5) 組織活動(会報の発行)

・会報を6回(NO171～NO176)発行。

6) 瀬戸市及び諸機関に対する要請

・とくに行わず

7) 保存する会の運営・会員の拡大

・事務局会議を毎月(8月以外)1回開催。
会員数は、8月1日現在 144名。

2、会計報告 ならびに監査報告

2023年度

瀬戸地下軍需工場跡を保存する会会計報告

1、収支合計

収入	支出	差引残高
497,528	249,062	248,466

2、収入内訳

内 容	金 額
前年度繰越金	273,134
その他(資料・講師謝礼・見学会残金など)	19,224
年会費およびカンパ	195,200
証言集売上	9,970

3、支出内訳

内 容	金 額
郵 送 料 会報(171号～176号)・書籍郵送等	145,938
印 刷 通 信 費 (コピー紙、封筒、会報印刷代など)	40,392
材 料 費 (模型材料費、展示パネル制作など)	19,080
会 合 費 (公民館借用費、謝礼など)	22,136
参 加 費 (戦争展分担金など)	16,114
調 査 資 料 費 (資料、書籍、見学会補助など)	3,045
維 持 管 理 費 (遺跡保存管理費)	657
雑 費 (駐車場代、振込手数料など)	1,700

以上の通り報告します。残金は次年度に繰り越します。

2023年8月2日 瀬戸地下軍需工場跡を保存する会

会 計

寺 脇 正 治



会 計 監 査

栄 木 房 子



- 3、次年度の活動方針(23年8月～24年7月)
- 1) 証言・資料を調査、記録する活動
- ① 地下軍需工場に関する新たな証言や資料、瀬戸地域の戦争体験談、戦時下の市民のくらしや産業・職場の状況などの写真や記録、地域に残っている遺跡などを調査する。
 - ② 瀬戸市にある戦争遺跡を調査し、「瀬戸戦跡マップ」を作成する。
- 2) 市民・県民に向けた広報活動
- ① あいち平和のための戦争展(8月10日～13日 市民ギャラリー矢田)に参加する。
 - ② ピースフェスティバルin瀬戸に協賛すると共に「戦争体験を語り継ぐ会」に参加する。
 - ③ 地域宣伝に努力する。また、地域の活動・イベントに参加し「地下軍需工場跡を史跡に!」の理解を広める。
 - ④ 瀬戸地下軍需工場跡を見学する会を開催する。(24年1月) 現地見学会
 - ⑤ 瀬戸市生涯学習市民講師として学校や他団体の要請に応じ講演講習ならびに資料を貸し出しを行う。
 - ⑥ 地下軍需工場跡地散策遊歩道マップ・看板等が公共機関に設置できるよう働きかける。
 - ⑦ 瀬戸市民活動センターの登録団体として市民との交流を図る。
 - ⑧ インターネットホームページ等デジタルコンテンツを活用する。
- (交流フェスタ参加10月14日(土))

ホームページ

<http://ob.aitai.ne.jp/~tera-m/index.htm>

2001年8月開設

フェイスブック(2012年4月開設)

いずれも「瀬戸地下」で検索

メールアドレス tera-m@ob.aitai.ne.jp

3) 戦争遺跡等の見学会、他団体と交流、全国に紹介する活動

① 戦争遺跡保存全国ネットワークに参加する。

第26回戦争遺跡保存全国シンポジウム

おっぱま大会参加予定

9月16日(土) 全体会、17日(日) 分科会、18日(月) 現地見学会

② 空襲・戦災を記録する会全国連絡会議に参加する。

加する。

③ 戦災・空襲記録づくり東海交流会に参加する。

(12月10日(日))

④ 戦争遺跡等の見学会を24年3月に開催する。

4) 地下軍需工場跡地を保存・整備する活動

・ 地下軍需工場跡地の整備(入口などを巡る散策道 草刈、案内表示板の設置等)を行う。

5) 組織活動(会報の発行・会員の拡大)

① 会の取り組み・証言・会員からのたよりを会員に伝えるため、会報を年6回程度発行する。

(皆様からの御意見・情報・証言をお待ちしております。)

② 会の活動費・会報の郵送料にするため、会

費を徴集する。(1年1口1,000円)

※振込用紙で送金される場合は、振込手数料込でお願いします。

③ 会員を拡大を図る。(8月2日現在144名)

6) 瀬戸市・県・国への要請

・ 地下軍需工場跡地一帯が保存され「平和への散歩道」を実現させるため、瀬戸市・県・国に要請する。

・ 「水野の里郷土館(仮称)づくり」歴史と自然の宝庫「水野の里」の素晴らしさを伝えるとともに、平和を考える資料館づくりをめざす。

7) 保存する会の運営

・ 事務局会議を毎月(8月以外)1回開催。毎月第2水曜日午後5時30分より、市職労組合事務所。

8) 年間活動計画 (2023年8月~2024年7月) 次ページ参照

事務局体制

顧問

加藤錦三 大矢昭夫

代表

梅野敏基

「市民活動センター」担当

事務局長

加藤 徹

会計・会報

寺脇正治

「あいち平和のための戦争展」担当

会計監査

栄木房子

広報・渉外

加藤敏晴

ピースフェスティバルin瀬戸

「戦争体験を語り継ぐ会」担当

芝田政春

大橋正博

資料・調査

熊谷達也

野田茂生

羽根田正之

質疑・承認

事務局員 紹介

以上

総会記念講演会

14時00分~16時00分

「大切な人との縁を結んだ戦争遺跡たち」

戦争軌跡研究会 圓角成生さん



ひらき座にも参加されたご経験をもつ圓角さんのお話は、大変、興味深いものでした。「戦争軌跡研究会」の軌跡という言葉には深い意味が感じられました。写真は圓角(野田)成生さん

月	行事名
8	32回総会(8/6) あいち平和のための戦争展(8/10~13)
9	会報177号発行 事務局会
10	パルティセと交流会(10/?) 聖霊中高現地見学会(10/21) 事務局会
11	会報178号発行 事務局会
12	第39回 空襲・戦災記録づくり東海交流会(12/14) 現地整備 事務局会
1	現地見学会 ならびに 学習会 (1/?) 戦争体験を語り継ぐ会実行委員会 会報179号発行 事務局会
2	春の見学会下見 ピース戦争体験を語り継ぐ会実行委員会 事務局会
3	春の戦跡見学会(?) あいち平和のための戦争展実行委員会・戦争体験を語り継ぐ会実行委員会 会報180号発行 事務局会
4	あいち平和のための戦争展実行委員会・戦争体験を語り継ぐ会実行委員会 事務局会
5	あいち平和のための戦争展実行委員会・戦争体験を語り継ぐ会実行委員会 会報181号発行 事務局会
6	あいち平和のための戦争展実行委員会・戦争体験を語り継ぐ会実行委員会 事務局会
7	あいち平和のための戦争展実行委員会・戦争体験を語り継ぐ会実行委員会 会報182号発行 事務局会

2024年度 会費・カンパの お願い!

本会は総会を持って会計年度が替わります。8月2日以降にいただいた会費・カンパは2024年度会計に計上されます。同封の振込用紙でご送金ください。よろしくお願ひします。



総会の最後に事務局員の紹介を行いました。

写真で観る晴嵐 28号機修復の全貌 第10話

愛知航空機研究者・渡辺哲国

10. 主翼&ガソリタンク

主翼はカール・ハインツェルとバーナード・ポバート、ロブ・マウニーが担当した。まず、カールが主翼を保持するスタンドを設計し製作した。スタンドに固定された主翼は、ドリルによって全てのリベットが抜かれ、表皮が剥がされた。翼内部に收容されている燃料タンク、操縦装置、折疊機構などが外され、腐蝕状況が点検された。主桁および主桁のキャップの腐蝕はかなり進行しており、一部は削除と新しい部材の溶接が必要であった。この種の特殊作業は溶接スペシャリストのビル・スチベンソンが腕をふるったが、非常に難作業であった。主翼の折疊部や胴体取付部に使われている鉄製ボルトも、腐蝕のため使用不能と判断され、機械加工スペシャリストのジョージ・ベンセラが再製作した。

主翼の翼端部はアルミ資材の節約と破損時の交換を考慮し、木製構造であったが、破損が激しいため、リチャード・ハリガンが再製作した。(図面は主翼組立図しかなかったため、破損した翼端部を分解し参考とした。)

サポータージュ、レジスタンス?) 主翼から外された燃料タンクの内部から、静岡県にあった太陽アルミニウム株式会社の検査進行表や作業表、愛知航空機検査部機体課の検査成績表などが余り汚損されない状態で発見された。

次号へつづく



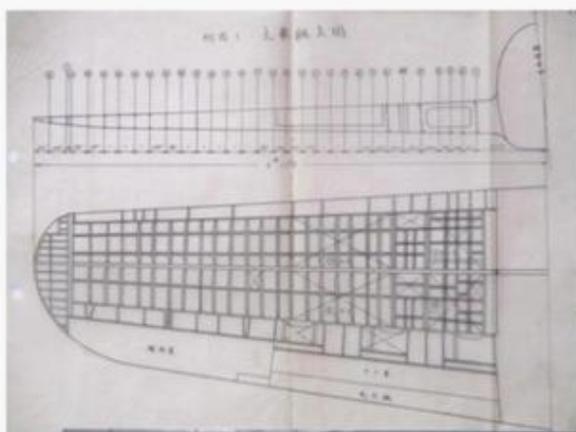
② 保管棟の主翼、木製翼端部、親子式フラップ、桁構造に注意



③ 保管棟の主翼、木製翼端部、親子式フラップ、桁構造に注意



④ 保管棟の主翼、木製翼端部、親子式フラップ、桁構造に注意



①M6A1 主翼組立図



⑤表皮(蓋板、外板)を剥がす前の主翼。折疊装置の蝶番に注意



⑥表皮（蓋板、外板）を剥がす前の主翼。折畳装置の蝶番に注意



⑦表皮が剥がされた主翼、腐食の目立つ主桁部とガソリントankに注意



⑧表皮が剥がされた主翼、腐食の目立つ主桁部とガソリントankに注意



⑨ガソリントankは主翼に4個、セミインテグラルtankと独立tank各2個



⑩油圧系統とは別の手動折畳展張歯車装置



⑪主翼構造透視図



⑫スタンドに固定され修復中の右主翼



⑬スタンドに固定され修復中の右主翼



⑭主翼から外された燃料タンクの内部から発見された太陽アルミの検査進行表

みなさまからのおたより

澤地久枝著『記録 ミッドウェー海戦』（ちくま学芸文庫）

現在上記の書籍を読んでいます。93歳の澤地久枝の命を賭けた渾身の書籍です。ミッドウェー海戦で戦死した日米戦死者3418名の者達の人となり、出生地等を調べ上げ、一冊の記録書であります。またミッドウェー海戦が如何に戦われたのか、日米の戦争記録を読み解き、時系列で双方の闘いの記録を記した。怒りと涙なくしては読み進めません。寺脇さん同様、「戦争だけは絶対起こしてはならない」思いを更に強くしました。

この記録なども後世の若者達に残したい書籍であります。

瀬戸市

木戸泰幸

瀬戸地下軍需工場跡を保存する会 寺脇正治さま

劇団菓子邸の嘉島菜乃です。

こちらこそ、先日は貴重な勉強の機会をありがとうございました。贈っていただいた資料は毎日少しずつですが、大切に読み込んでおります。会報の件、お声がけいただきありがとうございます。

戦争演劇に限らず、なにかしらのフィクションの世界観を立ち上げていくという行為を前に、軸となる資料の収集・参照は最も重要であり、最も一人では難しい作業です。戦争展でいただいた学びを基に、より一層制作に励んで参ります。よろしく願いいたします。

名古屋市

嘉島菜乃

寺脇様

昨日はお世話になりました。凶らずも、駄弁を弄してしまいましたが、いろいろなことに思いを巡らす稔多い幸を得ました。ありがとうございました。なお、寺脇さんの企画の発案から展示の細部に至るまでのご労苦を思っております。私も今秋から少しずつ軍需壕保存の会の活動に参加させて頂きたいと願っています。私の「軍需壕保存の会の活動休眠」中に本会で行われていた活動の成果などについて私も少しずつ追いついていきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願い致します。

①省略・・・

②会の活動企画について、思いつくままに一。

(1) 私、今週、瀬戸工科高校放送部の数人と会う予定があり、その折、昨日話題に上がっていた「瀬戸市出身の10代の若者たちの戦死」について彼らと意見を交換してみたいと思っています。同校放送部は全国的に成果をあげている学校とのことですので、同部の放送部として、今年度の放送ドキュメント作品制作としてこのテーマと取り組めないか、を打診してみたいと思っています。

(2) 今後の企画の一つとして、いわゆる「戦争恐怖症」というテーマはあり得ないでしょうか？戦争の恐怖から来る発狂や精神異常者のことです。名優・仲代達也さんの主演映画「人間の条件」の中に印象的なシーン（発狂し自死）が出て来た記憶がありますし、映画「西部戦線異常なし」の中でも描かれていた気がします。また、ベトナム戦争やイラク・アフガン戦争などからの帰還米兵の中でもかなり多いということが報告されています。何よりも日本の帰還自衛隊員の中にも自殺者や「戦争恐怖症」の例が報告されているようです。さらに、千葉県の国立国府台病院の戦時下の記録に関する分析研究（旧癌研関連の先生による）もあった気がします。兵士たちの「戦死」や「病死」とされる死因の中に「戦争恐怖症」がかなり埋もれているという研究があったような気がしています。これまでの本会の活動の中に、この「戦争恐怖症」についての活動や報告例がありますでしょうか？

(3) 私が収集した写真の中に、「旧瀬戸高女がモンペ姿で勤労奉仕」という写真があります。（また昨日も会場に来ておられた女性の中に「青銅の基督」の映画についての話を交わされている方がおられました。）戦時下の瀬戸の女性たちのことについてというようなテーマはどのようなのでしょうか？これまで企画として手がけられましたでしょうか？

どうか、いろいろご教示をお願い致します。

瀬戸市 中村儀朋

編集後記

今年の展示物の「瀬戸市顕霊誌にみる戦没者1175名の記録」は掲示物が膨大な量で、「語り継ぐ会」では開演時間に間に合わない事態になってしまい、皆様にはご迷惑をお掛けしました。名古屋で実施された「戦争展」では準備の時間が十分にあったので、良かったです。活動を通して皆様からの温かいお便りや貴重なご意見をいただき改めて感謝申し上げます。

2023年9月10日 (T)